
「傾向スコアマッチング解析を用いた肺切除術後の超音波ネブライザー使用の有用性の検証」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2018年7月31日～2022年3月31日の期間に、埼玉医科大学総合医療センター呼吸器外科で肺癌に対して肺の切除を受けられた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

呼吸器外科では、肺の切除を中心とした、胸部の外科的治療を行います。外科治療にともなって、人工呼吸や片肺換気の影響や、切除した肺の炎症や血液の貯留などによって、手術後は喀痰がたまりがちになります。手術後に痰をうまく喀出できないと、肺炎の原因になります。痰の喀出を促進する目的で、古くから霧状にした生理食塩水や痰切りの薬を吸入する超音波ネブライザー療法が使われてきました。この方法は、とくに喫煙歴のある患者さんや、キズが大きくて疼痛が強い患者さんにとって、痰が出しやすくなるメリットがあると理論上は考えられていて、当然のように使用されてきました。しかし、昨今、喫煙者は減少しつつあり、技術の進歩で小さいキズでの手術が可能になってきました。20世紀の手術に比較すれば、喀痰喀出困難で難儀する患者さんの絶対数は減ってきている印象があります。はたして、現代においてもネブライザー治療は手術後の肺炎防止に役に立っているのでしょうか。有用性が高いのであれば、継続すべきですが、実施してもしなくても肺炎の頻度に大差が無いのであれば、医療にかかるコストの観点からは実施をしない方がよいといえます。

2020年から新型コロナ肺炎が蔓延してから、病院内では超音波ネブライザー療法は感染を広げてしまう危険性が懸念され、使用が中止されています。そこで、2020年以前の症例と、以降の症例をそれぞれ集積し、似たような背景を持つ患者さん同士を統計学的にマッチングすることで抽出し、有用性を検証するのが本研究の目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後～西暦 2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年3月6日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

下記の情報を、診療録から収集します。

臨床的情報（年齢、性別、診断名、身長、体重、合併疾患、喫煙歴、術後経過、転帰）

検査記録からの情報（肺機能検査、血液検査所見）

画像情報（CT スキャンの画像情報）

手術記録からの情報（術式、手術時間、出血量）

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター呼吸器外科において、研究責任者である羽藤 泰が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当該期間の診療録から、上述の情報を回収します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者： 呼吸器外科 医師 准教授 羽藤 泰

研究実施者：

呼吸器外科	医師	教授	河野光智
呼吸器外科	医師	教授	儀賀理暁
呼吸器外科	医師	講師	福田祐樹
呼吸器外科	医師	助教	井上慶明
呼吸器外科	医師	助教	杉山亜斗
呼吸器外科	医師	助教	山口雅利
呼吸器外科	医師	助教	鹿島田寛明

4. 試料・情報の管理責任者

当院単独の研究かつ検査・解析等もすべて自機関で行う

【埼玉医科大学総合医療センター】 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センター

担当 呼吸器外科 准教授 羽藤 泰

TEL : 049-228-3459 (直通) 呼吸器外科医局 (平日 9 時-17 時)

○研究課題名：傾向スコアマッチング解析を用いた肺切除術後の超音波ネブライザー使用の有用性の検証

○研究責任(代表)者：埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器外科 准教授 羽藤 泰